米沢興譲館高等学校
体育文化後援会
会報

第 51 号
令和３年３月１日
山形県立米沢興譲館高等学校
体育文化後援会事務局
㈱川島印刷

「ピロティを人工芝に！」

体育文化後援会会長　小島　長五郎

平素は体育文化活動に関しまして、教職員並びに保護者の皆様・部活ＯＢ連合会様・賛助会員様それぞれに、物心両面に渡りご支援ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

令和元年度末から本年度にわたり新型コロナウイルス感染症により、教育の現場でも多くの混乱が生じ、教職員・生徒共に大変な年だったと推察致します。各部活動においても様々な制約が発生し、各種大会や遠征も軒並み中止となり、極めて異例な年度と成りました。

そんな中、年度当初の予算を見直す必要が出て、八月十一日に臨時理事・幹事合同会議を招集し、補正予算を組むとともに、長年の懸案でありましたピロティに人工芝を張る工事を決議致しました。その後、一般会員の保護者の皆様にもお知らせし、着工・完成したところです。現在、生徒達は人工芝ピロティで、快適な体育授業、質の高い部活動が出来ており、会員の皆様に改めて感謝と御礼を申し上げる次第です。

このコロナ禍で、文化系の大会は応募・Web・リモートなどと形式を変えて行われ、科学の甲子園全国大会実技競技プレゼンテーションシート 優秀校（全国で二校の最高賞）、全国高等学校総合文化祭自然科学部門ポスター（パネル）発表 研究奨励賞（全国で八校）、全国高校生英語ディベート大会出場などの結果を出していただきました。

また、運動部の大会も入念な感染防止対策の中、秋の新人大会から実施されるようになり、陸上競技・水泳（競泳）・スキー（アルペン）が東北大会へ、スキー（ジャンプ）はインターハイ、フェンシング女子（フルーレ）・スキー（ジャンプ）は全国高校選抜大会への出場を決めております。

今後も生徒が全力で部活動に励むことが出来るように、また、教職員の皆さんが安心して指導できる環境を作れるように、体育文化後援会がしっかりと支援して参りたいと考えております。会員の皆様には引き続きご支援のほど、宜しくお願い申し上げ、挨拶と致します。

高い志を持ち新たな価値創造に挑戦する興譲館生

校長　柿﨑　悦子

会員の皆様には、本校の体育文化振興活動に対し、日頃から物心両面にわたり多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本校では、脈々と受け継がれてきた『興譲の精神』である「自他の生命を尊重する精神」「己を磨き、誠を尽くす精神」「世のために尽くす精神」を教育の根幹に据え、進取の気風のもとに、豊かな知性と人間性を備え「高い志をもって新たな価値創造に挑戦する生徒」の育成を目指しております。この一年、新型感染症による様々な困難はありましたが、生徒は、日々の授業を第一にしながら、探究的な学習活動や部活動、自治会活動等などに仲間と共に意欲的に取組んでいます。

特に今年度は、長年懸案となっておりましたピロティの整備をしていただきました。人工芝化という大事業であり、部活動をはじめとして諸活動で活用させていただいております。皆様のご支援に衷心より感謝し御礼を申し上げます。

さて、新型感染症の影響は本校も例外なく、今年度は教育活動の変更や縮小を余儀なくされました。年度初めの約二か月の学校臨時休校もあり、学校再開後は授業時間確保のため、七校時の設定や長期休業日の短縮、行事の中止や変更を行いました。特に、運動部において、全国の高校生が目標としている全国大会が中止となり、同様に各都道府県や地区予選大会も中止となりました。三年生にとって高校生活最後の活躍の場が突然失われ、生徒はもちろん、部活動顧問や各競技団体関係者は皆衝撃をもってその決定を受けました。残念というほかありませんが、なんとも切ない気持ちになったのは、皆様も同じであったのではないかと推察いたします。夏に関係者のご尽力により代替大会を開催した競技もありましたが、運動部の大会の開催は秋の新人大会を待つところとなりました。その県新人大会では、陸上競技部や水泳部、ホッケー部が東北大会に駒を進めました。

運動部に限らず、文化部でも軒並み大会は中止となりました。全国高校総合文化祭はリモート開催となり、その自然科学部門のポスター発表では、コアスーパーサイエンスクラブの研究が全国八校に贈られた研究奨励賞を受賞しました。また、ESSクラブは、目標としていた山形県英語ディベート大会でみごと優勝し、全国大会へ出場しました。

スーパーサイエンスクラブの活動として、スーパーサイエンスハイスクール四年目の今年は、昨年同様に様々な科学的研究活動に取組み成果を挙げています。「科学の甲子園」では、昨年度末に全国大会の出場権を得て、その後の臨時休校中もインターネットを活用、駆使しながら検討を重ね、実技競技プレゼンテーションシートにおいて、全国で二校のみに贈られた最高賞を受賞しました。報道にも取り上げられ会員の皆様にもその快挙をご覧いただきました。

二学期末の終業式には、体育文化後援会表彰として、フェンシング部、前述しましたコアスーパーサイエンスクラブやスーパーサイエンスクラブの活動と、表現活動として全国の最優秀賞を受賞した生徒を表彰していただきました。それぞれの活動の詳細は、大会等成績結果一覧に記載されております。併せて各部のリーダーとして部員をまとめ引っ張ってきた部長が、部の成績や今後の目標について寄稿しておりますので、ご覧いただき激励していただければ幸いです。

現在も新型感染症の感染防止対策をしながらの活動ですが、これからも、興譲館の良き伝統を受け継ぎながら、高い志を持ち新たな価値創造に挑戦する興譲館生の育成を目指し、生徒・教職員が一丸となって取り組んでまいります。

今後とも皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げますと共に、本会の益々のご隆盛と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

令和二年度　事業報告

1 **理事・幹事合同会議**
令和二年四月二十八日(火)　本校会議室
・令和元年度事業報告(案)及び決算報告(案)
・令和二年度役員構成(案)
・令和二年度事業計画(案)及び予算(案)

2 **総　会(各学年部会役員会)**
令和二年四月二十八日(火)　本校各学年部会会場
・令和元年度事業報告及び決算報告
・令和二年度役員構成(案)
・令和二年度事業計画(案)及び予算(案)

3 **地区・県高校総体等壮行式(会長激励)**
令和二年五月七日(木)・二十一日(木)　本校講堂
・各大会中止に伴い実施せず

4 **各部ＯＢ代表・部顧問との顔合わせ会**
令和二年五月下旬
・中止

5 **全国高校総体等壮行式(会長激励)**
令和二年六月三十日(火)　本校講堂
・大会中止に伴い実施せず

6 **賛助会員募集・会費納入依頼**
令和二年七月吉日
・依頼文郵送によるお願い

7 **臨時理事・幹事合同会議**
令和二年八月十一日(火)　本校会議室
・令和二年度事業計画の一部変更について(案)
・令和二年度補正予算について(案)

8 **地区高校新人等壮行式**
令和二年九月十日(木)
・新型コロナウイルス対策として放送室から実施

9 **本校ピロティ改修(クレー→人工芝)工事**
令和二年十一月十六日(月)～二十五日(水)
・本年度施設整備として体育館一階半面ピロティをクレー(土)から(砂入り)人工芝に改修

10 **体育文化後援会表彰**
令和二年十二月二十八日(月)　本校講堂
・会長より二団体・二個人を表彰

11 **体育文化後援会報発行**
令和三年三月一日(月)

12 **大会・強化遠征等への年間を通しての補助**

白布マラソンＯＢ大会

主宰　土澤幸雄
(昭和二十八年度卒)

令和二年、白布マラソンＯＢ大会は、第二十回を迎えていました。

しかし、世情は新コロナの渦中、その実施については迷いましたが、「集団」でなければ「密」は避けられると考え、これ迄参加していた個人、チームに、大会期日を九月二十日として案内を送りました。

結果として、個人の参加は無く、駅伝形式のチームとして、バレー部ＯＢ会と、平成三年卒、佐々木謙介君が代表の「パトラン」というグループ、二チームが名のりをあげ、道路上の走者は二名という密を避けた大会となりました。

九月二十日は、かなり厳しい残暑でしたが、二チームはタスキをつなぎ…スタートをもちろん旧興譲館―南原―船坂峠―関―小白布―ゴールの高橋、十六km、笑顔で完走しました。

このコロナ禍、開会行事も割愛し、ゴールして全員の万歳もなく、その場で解散、何か物足りない気持はありましたが、例年とは違う重い感動を残した大会であったと思っています。

そもそも興譲館の全校マラソンは、私が入学した、昭二十五・四月、千喜良英之助校長の訓示の中で、本校は修学旅行は無い、登山とマラソンを行う、という一言で始められたもの。始めの頃は学校近郊の砂利道でしたが、昭三十年頃から、学校スタート―船坂峠―小白布―ゴール高橋、十六kmとなりました。

又、教職員も東西の二チームに分かれ、駅伝リレー形式で優劣を争ったものです。何とも大らかな良き時代でした。

さて令和三年、コロナ終息の見通しもない中ですが、何とか実施の方向で考えています。

興譲館名物・白布マラソンへどうぞ…と言えないのが残念ですが…。要項は七月末頃送ります。どうぞ宜しく。

体育文化後援会 表彰者一覧

no	活動名	組	氏名	活動成績
1	フェンシング部	３－２ ３－２ ３－３ ２－５ ２－２	平　　明星 島崎　　茜 佐藤ひまわり 和泉　希音 大久保南美	第44回全国高等学校選抜フェンシング大会 北海道・東北予選会 女子エペ　第２位 →全国高校選抜（宮城県）中止
2	表現活動	２－２	佐藤詩央里	（公益財団法人）生涯学習振興財団：主催 第21回高校生小論文コンクール 個人部門　最優秀賞（沖永壮一博士記念大賞） 作品名「夢への道」
3	ＳＳクラブ	３－２ ３－１ ３－１ ３－２ ３－１ ３－２ ３－１ ３－２	安部　央人 蒲生　海珠 佐野　孔亮 鈴木　悠世 萩野　賢皓 平井　義祈 本間崚太郎 松井あきら	第９回科学の甲子園全国大会 実技競技プレゼンテーションシート 優秀校（全国で２校の最高賞 千葉県・渋谷教育学園幕張高等学校と共に）
4	ＣＳＳＣ	３－１	牛久保　舞	第44回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門　ポスター（パネル）発表 研究奨励賞（全国で８校） 「農作物の品質管理を目指した バイオセンサーの開発」

本校ピロティ改修（クレー→人工芝）工事について

生徒課長　手塚　剛

コロナウイルスが蔓延し生徒の部活動がどんどん制限されていく状況に比例していく形で体育文化後援会の予算執行も滞ることとなった。二年三月に多くの部が計画していた春の県外合宿がすべて中止となり、例年にないほどの繰越金が発生した。

また、新年度に入っても収束の気配は見えてこず、五月から始めるはずであった高体連主催大会がことごとく中止となった。この状況が続けば令和二年度にも多くの繰越金がすでに予想された。そこで体育文化後援会の役員の方々により対応策の検討に入った。

当然ながら生徒への返金も協議されたが、この体育文化後援会の収入の原資は生徒からの徴収金が中心となるが、地域の方々からの賛助金やＯＢからの寄付等も含まれた会計であり、毎年の繰越金を重ねながら今年度会計となっているため返金はなじまないものとの結論に至った。そこで、できるだけ会費を納めている生徒諸君に還元するため、校内施設の充実を図ることとなった。

検討が進む中で凹凸が激しく有効利用がなされてこなかったピロティを整備し、体育の授業や外の部活動の雨天時や冬季間練習が計画的にできるよう人工芝にしていくこととなった。八月に臨時の理事・幹事会が開催され多くの賛同をいただき、九月から業者選定、そして十一月に工事着工、無事完成に至った。

現在、体育の選択授業のフットサルや野球部・サッカー部・ソフトテニス部・ホッケー部の冬期間の部活動として、フル回転で活用されている。

上級大会出場者から

東北高校新人大会に出場して

陸上競技部　横山　文香

十月二日から四日に岩手県で行われた東北高校新人陸上大会に三段跳で出場しました。

初めての東北大会でしたが、試合に向けて調整をしていく中で自分のコンディションをうまく上げることができました。一本目の跳躍は助走からジャンプの動作がリラックスしたいい跳躍で自己ベストを更新し、いいスタートとなりました。しかし二本目・三本目は最後のジャンプでつぶれてしまって記録が伸びず、ベスト８に残ることはできませんでした。今回の試合は自己ベストを更新し、とにかく楽しかったです。しかし、良いコンディションをうまく生かせなかったのは悔しかったです。高いレベルで戦うための自分の課題や強みを知るとても良い経験ができました。

こんな経験ができたのは、いつもご指導くださり今回は試合会場でサポートしてくださった堀江先生や落合先生、一緒に練習している陸上部のみんな、いつも支えてくれる家族の力があったからです。

これから、来シーズンに向けて毎日限られた時間の中でできることに全力で取り組んで、来年は三段跳さらに走高跳で東北入賞・インターハイを目指します。

さらなる高みを目指して

水泳部　尾形　綺音

新体制となった水泳部競泳では、山形県高等学校新人水泳競技大会に出場した部員七人中佐原、尾形、船山の三人が東北大会に勝ち進むことができました。

今大会は一日目が女子、二日目が男子と人数を減らし、様々な感染対策が講じられた中での開催となりました。私自身は今大会が行われた宮城県のＧ21プールで泳ぐのは初めてで、夏に感じることのできなかった東北大会の緊張感とともに、ここまで来られた喜びやこの素晴らしい会場で一秒でも速く泳ぎたいという希望に溢れました。一日目に出場した二年佐原と尾形は、県大会よりも記録が伸びましたが、自己ベストには届きませんでした。二日目に出場した一年船山は、自己ベストを更新することができました。それぞれ見つかった課題を練習で克服できるよう頑張っています。

来年度は、大会が例年通り開催されるかは不透明ですが、東北大会に出場して各自の納得のいくタイムを出せるよう、これからも練習に取り組んでいきます。今後も応援よろしくお願いします。

平常心で楽しむ

スキー部　落合　創太

ここは長野県飯山市、全国でも珍しいブレーキングトラックのすぐ前まで市街地・住宅地がせまる「市営飯山シャンツェ」見上げると雲一つない真っ青な空が続き、冷たい空気に背筋がぴんとなる。下を見ると真っ白い雪の大地が広がる。そしてゆっくりと定位置につく。シグナルが変わる。よし、行こう。「平常心！跳ぶことを楽しもう！」今回の大会の自分のテーマだった。

高校生になり、初めての全国大会がインターハイでした。コロナ禍というイレギュラーな中での開催。例年だと夏や初冬にも大会があるのですが、今年はほとんどの大会が中止となっていたため、今回は約一年ぶりの全国大会規模の大会でした。参加させてもらえることの有り難さを深く感じました。

目標は十位以内に入ることでしたが、やはり高校生の壁は高く、自分の課題がよく分かった大会でした。今年の夏は、一番の課題である、脚力と体幹の弱さにフォーカスし、平日は陸トレ、週末は蔵王のジャンプ台に何度も通い、練習に励み、さらなる高みを目指して行きたいと思います。

そして私が大会に出場することでたくさんの方々のご指導とご協力が

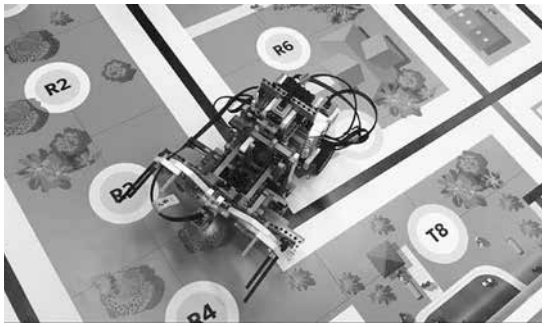
あることを忘れずに、これからの練習を精いっぱい頑張っていきたいです。

ＷＲＯ Ｊａｐａｎ二〇二〇決勝大会 ｏｎ ｔｈｅ ＷＥＢ本部選考会に参加して

ＣＳＳＣ　釜田　康誠
美保　駿作
綿貫　滉大

私達は十一月二十八日、チーム三人でＷＲＯ Ｊａｐａｎ二〇二〇決勝大会ｏｎ ｔｈｅ ＷＥＢ本部選考会（全国大会 兼 決勝大会予選）に出場しました。ＷＲＯとはWorld Robot Olympiadの略で、レゴマインドストームを用いた競技大会です。本年度は新型コロナウイルス感染症に伴ってＷＥＢ開催となり、地区予選の代替として競技の様子を撮影した動画を提出し、その後オンライン上での本部選考会での競技を経て選抜されたチームが決勝大会に臨むことになります。

競技ルールで使用可能なモーターの数が限られているため、掴む、持ち上げるという動きを一つのモーターで行える機構を組み込むなど工夫してロボットを作成しました。また高度な動きを要求されるため、何度も試行錯誤しながらプログラムを改良しました。しかし本部選考会本番では、機体の機構を急遽変更したために想定した動きを上手く行えず、惜しくも決勝大会進出には至りませんでした。今回の大会では、全国から集まった他チームの動きや機構を見ることができ、私達にはなかった観点からの発想に触れ、学ぶことができました。今回学んだことを後輩達に伝え、来年の大会に活かしてもらいたいと思います。



マリンチャレンジプログラム二〇二〇東北大会・サイエンスキャッスル二〇二〇関東大会・環境ＤＮＡ学会に参加して

ＣＳＳＣ　佐藤　伯
遠藤　祐太
澤井　奎治

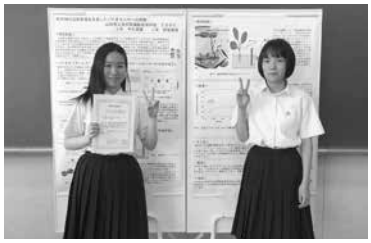
生物の生息域の調査に適している「環境ＤＮＡ」という技術がある。私たちは昨年度末から絶滅危惧種のキタノメダカの生息域マップを作成することを目的に研究を行っており、今年度「マリンチャレンジプログラム二〇二〇認定研究」に認定していただいた。そして、これまでの研究の成果を「マリンチャレンジプログラム二〇二〇東北大会」、「サイエンスキャッスル二〇二〇関東大会」、そして「環境ＤＮＡ学会」で発表した。

コロナ禍の中で、他の部活動の生徒が他県の遠征や大会になかなか参加できない中で、私たちはＷＥＢ形式で東北地区のみならず全国の高校生や研究者の方々と様々な意見交換や交流ができ、とても良い経験ができた。これらの大会への参加により、自分たちの研究の足りない部分を理解し、改善に役立てることができた。雪が解けたら現地調査に出て、研究をさらに進展させたい。

第四十四回全国高等学校総合文化祭二〇二〇こうち総文自然科学部門に参加して

ＣＳＳＣ　牛久保　舞

今年の全国高等学校総合文化祭は、新型コロナウイルス感染症の影響でＷｅｂ開催となりました。私は「農作物の品質管理を目指したバイオセンサーの開発」というテーマで研究発表を行う予定でしたが、発表の様子を動画撮影し提出する形式となりました。大会が通常どおりに開催されなかったことや、休校に伴い実験が中途半端に終わってしまったことは非常に残念でした。しかし、そのような環境の中でも最高の発表をしようと思い、休校中には研究を御指導いただいている山形大学工学部の長峯邦明准教授とメールでやり取りをして内容を精査し、学校に登校できるようになってからは納得のいくまで動画を何度も取り直しました。結果として、ポスター発表の部門で研究奨励賞（全国で八校のみ）をいただくことができました。



研究奨励賞をいただき、これまでの努力と成果が全国の舞台で認められたことが嬉しかったです。これまでのコアスーパーサイエンスクラブにおける多くの活動をとおして、研究する力だけでなく、主体性や計画性、質問力など様々な能力の重要性を学びました。このような機会を与えてくださったことに感謝します。

パソコン甲子園二〇二〇プログラミング部門本選に参加して

CSSC　見保　駿作
高梨　美佳

私たち二人は会津大学主催のパソコン甲子園二〇二〇プログラミング部門において、九月十二日に行われた予選にて山形県内で最高成績となったことから、オンライン特別枠として十一月十四・十五日の本選（全国大会）に出場しました。

パソコン甲子園とは、高校生が情報処理技術におけるアイディアや表現力等を競い合うＩＣＴ分野の全国大会です。予選、そして本選に向けて、私たちは過去問を解いたり、分からないとこを教えあったりして力を伸ばしてきました。しかし、本選では十二問中四問しか解くことができませんでした。簡単な問題しか解くことができず、アルゴリズムや問題を違う視点から見ることができませんでした。

全国大会に出場し、全国のレベルの高さと、私たちとの力の差を知ることができました。また、大会後に他校のインタビューを聞いたところ、二人でどの問題を解くのか役割分担したり、問題に応じてプログラミング言語を使い分けたりと様々な工夫をしており驚きました。この貴重な体験を通して、問題を解くための新しい観点やチームワークが大切だということが分かりました。次に向かって向上していくとともに、来年の後輩たちにこの経験を伝えていきたいです。

「WEB SOUBUN」を通して

新聞・文芸部　佐藤　ちな

コロナウイルスの感染拡大の対応として、ＷＥＢ上で「ＷＥＢ ＳＯＵＢＵＮ」として行われた第四十四回全国高等学校総合文化祭の文芸の散文部門に作品を展示させていただきました。今回展示させていただいた作品は、自分との向き合い方をテーマにした作品でした。私自身が自分と向き合うことが苦手で、自分を主人公に重ねて、物語を少しずつ展開させていきました。私自身、そして同じように向き合い方に悩んでいる人の背中を押し、前向きにできるような作品を目指しました。

今回、他校の生徒さんとの直接的な交流はできなかったものの、ＷＥＢに展示された作品を読むことができ、参考にしたい物事の見方や、自分には足りない部分を見つけることができました。表現力と専門的な知識が特に足りず、未熟な作品となっていたことに気づくことができたので、今回気づいたことを次の作品作りに活かしたいと思います。

東北大会に出場して

新聞・文芸部　高橋ののか

今回、初めて自分の描いた作品を大会に出しました。慣れない作業に、なかなかの過密スケジュールでしたが、やりきることができてよかったです。

さて、今回の課題はプロットという、小説における話の大筋を書くものでした。プロットを書くことによって、物語の起承転結を具体的に膨らませていくと、本文を書くのが楽になります。ですが、このプロットもほぼ何もないところから書いていくのでとても難しいです。特に、登場人物の心情の変化と行動を結び付け、さらに話の筋が通るように書くのは、一度では頭の中で整理できません。なので何度も繰り返し見直しました。具体的でありつつ、簡潔で読みやすい文章を目指しましたが、まだまだ色々なところで自分の力不足を感じたので、これからは数をこなしつつ、豊富な語彙でレベルの高い文章を書けるよう、勉強を重ねていきたいと思います。

令和二年度 部活動 活動報告

文化部

◇美術部

顧　問　佐々木綾子
　　宮下説子
前部長　渡部千紗
現部長　大橋彩未

特別な一年を振り返る

私たち美術部は、油彩画、ペン画、その他に立体制作、デザインなど、さまざまな作品を制作しています。

八月の興譲祭では、美術部・OB合同展覧会と、「アートを探せ！inメキシコ」という企画を行いました。コンセプトや世界観にこだわり、多くの興譲館生や先生方に楽しんでいただけました。十月の県高校美術展では、反省会を行うことで、今後の活動意欲を向上させることができました。そして、今年度もポスターや冊子などの制作をさせていただきました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、例年と違う点も数多くありましたが、一人ひとりが意欲的に頑張ることができました。今後も、作品を通して、自分たちらしい表現を伝えていけるように励んでいきます。

◇吹奏楽研究クラブ

顧　問　土井広一
　　進藤美沙
　　市ノ渡満与
前部長　齋藤千尋
現部長　門叶優花

限られた時間で得たもの

今年度、吹奏楽研究クラブは、三年生一五人、二年生二〇人、一年生一四人、計四十九人で始動しました。新型コロナウイルスの影響で定期演奏会や全日本吹奏楽コンクールが中止、合奏等の大勢が集まる活動の制限など、思うように活動ができない時期が続きました。

三年生フェアウエルコンサートや、出前ライヴの代わりとなる保育施設への動画作成など、例年にはない活動が多く試行錯誤の繰り返しでしたが、部員全体で何度も話し合いを重ね、活動を成功させることができました。

急な出来事で練習が出来なくなるという経験をし、練習ができることは当たり前ではないということを実感しました。だからこそ今ある時間を大切にし、来年度の定期演奏会や全日本吹奏楽コンクールでより良い演奏ができるよう、日々の練習を頑張っていきます。

◇新聞文芸部

顧　問　芳賀有美子
　　藤原洋子
前部長　長橋昂汰
現部長　梅津皓平

一年の活動

今年度、二年部員がいない中、五人の一年生が入部し、新体制でのスタートとなりました。右も左もわからない中、私たちに丁寧にご指導してくださった先生方には感謝しかありません、本当にありがとうございます。

さて、今年度行った活動としては、壁新聞二号と部誌のみと、なかなかに内容の薄い活動となってしまいました。現在、もう一号部誌を発行しようと、部員一同精一杯活動しておりますが、なれない作業も多く、経験不足を実感しております。ですが、たくさんの方々にご協力いただき、今年度中の発行を目標に頑張っています。来年度は、今年得た知識や経験を活かし、もっと内容の濃い活動ができるよう精進していきます。

◇調理科学部

顧　問　渡部弘美
　　田近裕子
前部長　伊藤和雅
現部長　山木穂

「今できること」

今年度私たち調理科学部は新型コロナウイルスの影響でさまざまな行事、検定、コンテスト等の自粛を余儀なくされ、これからの活動に不安を抱いていました。しかし、このようなコロナ禍の中で私たちが今できることに全力で取り組もうと部員それぞれが一致団結し、様々な活動を行っています。具体的には、新しい生活様式に基づいたアルコール消毒の徹底や三密を防いだ班の人数調整です。これにより安心感を持って日々の部活動に励むことができました。また、興譲祭では食品ロスに関するポスター発表と「環境にやさしい料理レシピコンテスト」に応募したレシピの紹介を行いました。

このように様々な活動を行うことができたのは顧問の先生をはじめとしたたくさんの方々の支えがあってこそです。これからも感謝の気持ちを忘れず、活動していきたいと思います。

◇音楽部

顧　問　山口英雄
　　三上桂
前部長　土田莉子
現部長　橋本夏花咲

新しい一年

私たち米沢興譲館高校音楽部は四人という少ない人数で活動しています。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、思い通りの練習ができなかったこともありました。ですが、部員同士の距離を空けての練習や一人ひとり曲を選んでの練習など、個人の技術向上を図ることができた一年になったと思います。また、昨年度は混声合唱でしたが、部員数の減少により女声合唱に

なりました。新しいことばかりで戸惑うこともありましたが、部員同士で教え合い、アドバイスし合うことでより良い合唱に向かって練習することができました。

今後もどのような状況になるかわかりませんが、自分たちにできることを考え歌声づくりをしていきたいと思います。

◇ESS部

顧　問　向田智弘
前部長　丸田　満与
現部長　菅野翔太

今年はコロナの影響もあり、できることが制限されてしまった一年でしたが、幸いにも僕たちの目標としていた英語ディベート大会に参加することが出来ました。今年のテーマは「日本政府は二〇三五年までにガソリンを燃料として使用する乗用車の生産を禁止するべきか、否か」でした。ＡＬＴのジェイミー先生の助けを借りながら論を作成し、練習を重ねた結果、興譲館で初となる優勝を勝ち取ることが出来ました。この大会を通して、僕たちは様々な考えの人と意見を交換することの大切さ、仲間と協力して課題を解決することの楽しさを学びました。これからも、英語を楽しく学び、多くの場面で実践的に使うような部活動を作っていきたいと思います。

◇CSS部

顧　問　髙橋渉
前部長　山口大輔
現部長　石黒宏治
　　江袋晴菜
　　牛久保舞
　　髙梨美佳

一年の部活動を振り返って

今年度のコアスーパーサイエンスクラブの主な活動は、イノベーター育成塾における研究、生物班・ロボット班・情報班・物理班などに分かれて行った校内研究、各種大会や発表会への参加、企業・他校の高校生と連携した「やまがたＡＩ部」への参加などです。

イノベーター育成塾では二年生九名が山形大学工学部の研究室に配属され、興味関心に応じた様々な分野の専門的な研究をさせていただきました。また、塾長ゼミとして有機エレクトロルミネッセンス研究の権威である城戸淳二先生にプレゼンテーションのご指導をいただくなど、大変貴重で有意義な時間を過ごすことができました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの大会・発表会が多くなりましたが、予選への積極的なエントリーによる全国大会への進出や、全国規模の学会や講演会に学校内で参加することができたというメリットもあり、研究活動に対する良い刺激を受けることができた一年となりました。

運動部

◇野球部

顧　問　吉田真悟
　　川合良典
前部長　情野太陽
現部長　佐藤琉光

私たち野球部は人として成長できるように〝win the respect〟という目的の下、日々活動しています。新型コロナウイルスの影響により様々な大会が中止となりましたが、夏の大会は開催されることを信じて自主練習に励みました。幸いにも代替大会を開催していただくことになり、結果は三回戦敗退でしたが、最後まで諦めず楽しみながら試合を繰り広げた三年生の姿は、新チームのこれ以上ないお手本となりました。新体制で臨んだ秋季大会では、これまでどれだけ三年生に頼っていたかを痛感させられる試合となりました。私たちの目標である「甲子園で校歌を歌う」ことを実現するためにも広い視野を持ち、二割の余裕を持って活動していきます。今後とも応援宜しくお願いします。

◇陸上競技部

顧　問　落合祐
前部長　尾田憲昭
　　安部司
現部長　横山文香

私たち陸上競技部は現在、二年生八名一年生十六名、計二十四名で活動しています。

今年度は多くの選手が県新人大会出場し、中でも二名が入賞、一名が東北新人大会出場という成績を残すことができました。さらに、県高校駅伝大会では、今までの順位・記録を大きく上回る走りで襷を繋ぐことができました。自主練習の期間が続いたり大会の機会が少なかったり慣れない状況の中でも自分の力を発揮してこのような結果につなげられたことは自信になりました。一方で、思うようなパフォーマンスが出来ず悔しい思いが残ってしまうこともありました。

これからも、この自信や悔しさ、また顧問の先生や保護者の方への感謝の気持ちを忘れずに一分一秒を全力で、そして私たちらしく明るく楽しく練習に取り組んでいきます。

◇バレーボール部

顧　問　後藤由香
　　石黒吉寛
前部長　平井義祈
現部長　本田孝和

今年度バレーボール部は、後藤由香先生・石黒吉寛先生のご指導のもと、選手十七名・マネージャー六名で活動を開始しました。しかし、一斉休校を受け、四月・五月はほとんど練習することが出来ず、地区総体・県高校総体ともに中止になってしまいました。

新体制になってからも活動の制限は続き、練習試合が中々組めない状態でしたが、それを逆手にとり、守備練習を主に基礎から丁寧に練習しました。しかし、その練習の成果を実戦で発揮出来ず九月の安部

杯では四位でした。ただ、負けた中でも課題点を見つけることができ、次の大会に向けて守備力の強化に取り組みました。その結果、十一月の地区新人大会ではレシーブ返球率が格段に上がり、随所でコンビを有効活用することができました。そして、順位も一つ上げることができ、成長も実感することができました。

今の私たちの大きな課題は、相手に掴まれた流れを自分たちで断ち切ることができず、連続で得点を許してしまうことです。技術・精神両面での向上を目指し、チーム全体で声を掛け合い、自分たちのバレーが展開できるよう励んでいきます。保護者やＯＢの方々の多大なるご支援への感謝の気持ちを忘れずに今後も頑張っていきたいと思います。

◇バドミントン部

顧問　西部智広
前部長　佐藤好由
現部長　山口和也
　　山口由悟

今年度を振り返って

今年度、三年生は早期に引退を余儀なくされ、新体制となったチームで練習を再開しました。例年よりコートを使用できる日数は減ったものの、その分トレーニングに力を入れることで競技の向上を目指しました。九月、地区新人戦大会が開催され男女それぞれの目標達成のために尽力するとともに、大会の運営・準備をしてくださる方々への感謝の気持ちを持って挑むことができました。県新人戦大会においては、米沢バドミントン協会の長谷川さんをはじめ多くの方から技術面のサポートをいただきました。良い成績は残せなかったものの、次につながる経験を積むことができたと思います。多くの方の支えがあることを忘れず春季高校総体に向けて努力を続けていきます。

◇サッカー部

顧問　齋藤幸司
　　山口優
前部長　髙橋圭吾
現部長　松下晋也

今年度の反省と来年度の抱負

本校サッカー部の目標である「県大会優勝・Ｙ１昇格」の達成に向けて、今年もチーム全員が一丸となり日々の活動に取り組んできました。

新チームが発足してからすぐの代替大会や県リーグではなかなか思うような結果を残すことはできませんでした。改めて先輩方の存在の大きさに気付かされました。地区新人大会では、自分たちの良さを出すことはできたものの試合終盤での失点や立て続けの失点など、それ以上に悪いところが出てしまい、県大会へ駒を進めることはできませんでした。この敗戦を受け、自分たちのサッカーを見直し、修正して更なるチーム力強化に励みました。シーズン最後の公式戦、高校サッカー選手権大会では三回戦でシード校東海大山形にチャレンジし、敗退するも少ないチャンスをものにし、また粘り強いディフェンスをすることもでき、少なからずチーム全体として今シーズンの成長を感じることができたゲームでした。

今年の悔しさを忘れず、先生方、選手、マネージャーが一体となり来春に勝利をつかむことができるように頑張っていきます。

◇バスケットボール部男子

顧問　廣瀬辰平
　　山口大輔
前部長　渡邊悠斗
現部長　三ヶ山悠太

初めての制限の中で

今年度、私たちは三年生七名、二年生八名、一年生十名で活動してきました。さまざまな。新型コロナウイルスの影響により、地区総体をはじめとする大会が中止になりました。また、バスケットボールの練習では、感染症予防に努めた制限がかけられ、思うように練習をすることができませんでした。そのような状況の中でも部員全員で数少ない練習を集中して行うことができました。

新チームとなり、昨年からの堅守速攻のバスケットボールにスクリーンを使ったセットプレー、オールコートディフェンスを加え、県ベスト８を目指して日々の練習に励んでいます。残り少ない期間で、今まで出た課題を克服し、一人ひとり悔いが残らないように全力で頑張ります。

◇バスケットボール部女子

顧問　小林啓明
　　坂野理絵
前部長　寺澤晴香
現部長　遠藤真緒

「日々精進」

今年度、女子バスケットボール部は三年生三名、二年生八名、一年生五名の計十六名で始動しました。コロナウイルスの影響で三年生最後の大会が中止となってしまいましたが、三年生は最後まで先輩としてのあるべき姿を私たちに示してくださいました。先輩方からはどんな状況でもその瞬間を全力で楽しみ、最後まで諦めないことの大切さを学びました。

新チームでは県ベスト８を目標に掲げていますが、地区新人大会では準決勝で米沢東高校に敗れ三位という結果に終わり、まだまだ実力不足であることを痛感しました。個人の基礎スキル、シュート率やコミュニケーション力の向上等を目指して一つひとつの練習に励んでいきたいと思います。

日々ご指導くださる先生方をはじめ、たくさんの方々に感謝し、より一層強いチームになれるよう精一杯頑張ります。

◇ソフトテニス部男子

顧問　猪俣幸一
前部長　向田智弘
現部長　種村翔
　　小山醇

コロナ禍の中で

私たちソフトテニス部はプレイヤー二十一名、マネージャー二名の計二十三名で活動してきました。

今年度は新型コロナウイルスの影響により地区高校総体を迎えることなく代替わりが行われました。

新体制になって最初のころは部長決めなどの話し合いで意見がうまくまとまら

なかったり、部長と副部長で考えた練習メニューがうまく回らなかったりして、足並みが揃わない状態が続きました。

しかし、県大会を経験してからは県で通用する実力をつけるという明確な目標ができ、基礎練習や体づくりなどにも熱が入るようになってきました。今後もこの調子で真剣に練習に取り組み、部活動というものを楽しんでいきたいと思います。

◇ソフトテニス部女子

顧問　狩野章和
前部長　中川玲子
現部長　遠藤理央
安部理央

今年度の活動を振り返って

私たち女子ソフトテニス部は三年生四名、二年生三名、一年生六名の計十三名で活動しています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で部活動が制限され、三年生は最後の大会を迎えることなく引退という形になってしまいました。この困難な状況の中でも私たちは「地区制覇」という目標を掲げ前進してきました。休校による練習時間の不足や、初心者もいる中での練習で不安や悩みもありました。しかし、一人ひとりが、目標を達成するために何をすべきかを考え、話し合いをすることで真剣に練習に取り組んできました。地区新人大会では満足する結果は得られませんでしたが、その悔しい思いをバネにして来年度も努力していきます。

◇フェンシング部

顧問　髙田和典
前部長　伊勢幹彦
現部長　平明星
和泉希音

新体制になって

私たちフェンシング部は顧問の髙田先生、伊勢先生のご指導のもと、二年生四名、一年生三名で活動しています。部員数が少ないからこそ生まれる絆によって、私たち七名は家族のような関係を築き上げてきました。

この一年、新型コロナウィルスの影響もありましたが、たくさんの方々に支えていただき、毎日の練習や大会にも参加することができました。今後は、部員全員で技術面と精神面の両方を鍛え、大会でより良い結果が出せるように、そして、支えてくださる方々に恩返しができるように、全力を尽くしていきたいと思います。ご声援よろしくお願いいたします。

◇卓球部

顧問　菅沼正
前部長　山口憲武
現部長　黒金創一朗
山口達也

「今できることを精一杯」

私たち卓球部は、男子九人女子七人で活動しています。今年度はコロナの影響もあり毎年五月に行われている高体連が無くなり、三年生は悔しい引退となってしまいました。学校が始まってから部活動はありましたが、毎年九月に行われている新人戦まで大会はほとんどありませんでした。ですが、新人戦では各々の課題を見つけ次に繋がる試合をする事が出来ました。日頃の練習では各々が大会で見つけた課題に取り組んだり、部員全員に共通する課題を教え合いながら練習し、来年度の高体連に向け頑張っています。

このような状況だからこそ決して諦めず、今できることを精一杯頑張って行きたいと思います。

◇水泳部

顧問　石黒宏治
前部長　田村岡彩
現部長　尾形村若菜
綺音

私たち水泳部は所属クラブチームが複数に分かれており、例年でさえ部員が集まれる活動があまりありませんが、今年度はコロナ禍で多くの大会が中止になってしまい、さらにそのような機会が減ってしまいました。また、四月、五月は各クラブの練習プールの休館や大会の中止が続き、いつになったら水中の練習や大会ができるようになるのか見通しがつかず、つらい日々が続きました。その後様々な活動が再開されても、感染対策として出場人数の減少や声援禁止、こまめな消毒などの慣れないことが多く、とても戸惑いました。今こうして例年の状況に戻りつつあることを当たり前だとは決して思わず、お世話になっている全ての方への感謝の気持ちを胸に、これからも精一杯頑張ります。

◇山岳部

顧問　菊地篤
前部長　伊藤謙汰
現部長　猪股舜斗
佐藤匠馬

新たなことに挑戦した一年

山岳部は現在二年生五人、一年生四人の計九人で活動しています。今年度は新型コロナウイルスの影響で、先輩方が最後の大会に出場できずに引退してしまいました。私達はそんな先輩方の無念さもしっかりと受け取った上で日々の練習に取り組んでいます。

山岳部の活動は主に無雪期と積雪期に分かれます。無雪期の平日は基本的に校舎を使って筋トレやランニング、ラジオの放送を聞いて天気図を記入する天気図作成を行います。休日は県内外の山を登りに行きます。積雪期になるとスキーやスポーツクライミングを取り入れています。今年は新たな試みとしてクライミングジム主催のボルダリング大会に出場するなど挑戦の多い一年でした。これからも様々な取り組みにチャレンジしつつ、「安全かつ楽しむ」という伝統のスローガンをブレずに掲げながら部員一同頑張っていきたいと思います。

◇柔道部

顧　問　荒井ゆり子
前部長　秋葉　崇
現部長　猪股諒太
　　高橋大祉

「継承　興譲館柔道部」

今年度の柔道部の活動は、新型コロナウイルスによる休校明けから始まった。

三年生は一年生とほとんど関わることのないままの引退となってしまった。三年生の先輩二人が抜け、一、二年生が一人ずつのたった二人での活動。しかも、柔道は「密」な競技ということで、六月半ばまではトレーニングのみ。ようやく柔道ができるようになってからは、週末に米沢工業高校や置賜農業高校の皆さんと合同練習をさせていただいた。久しぶりに多くの仲間と柔道ができたときは、本当にうれしかった。

大会もなくなったり、規模が縮小されての開催だったりで、例年とは全く違う一年であった。OB会稽古もなくなり残念であったが、連綿と受け継がれてきた興譲館柔道部の歴史を未来につなげるために、今できることに集中して精進していきたい。

◇剣道部

顧　問　五十嵐弘一
前部長　松村宜典
　　長岡勝梧
現部長　佐藤　愛
　　佐藤光月流
　　金田藍佳

「感謝」

私たち剣道部は三年生六名、二年生七名、一年生八名の合計二十一名で活動しています。今年度は新型コロナウィルスの影響もあり、三年生は県高校総体に出れないまま現役を退くこととなりました。例年通りに活動することは叶わず、練習試合や試合もほとんど中止となってしまいました。しかし、私たちは一人ひとりがチームの一員であることを自覚し、お互いに声を掛け合い、質の高い稽古を作り上げ日々切磋琢磨しています。このように楽しく稽古をすることが出来ているのも顧問の先生方や保護者、たくさんのOBの先輩方が支えて下さっているおかげだと思います。私たちは多くの人に支えられていることに感謝し、これからも頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします。

◇弓道部

顧　問　原田知明
前部長　小嶋　華
　　村上由樹
現部長　髙橋可奈子

正射必中を目指して

いつもご支援ありがとうございます。私たちは、射技の向上のため、仲間と協力し合いながら日々練習に励んできました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で練習や大会の機会が少なく、難しいシーズンとなりました。しかし、その中でも一人ひとりが自分の課題を修正しようと努力したり、お互いに射型について指摘したりと、有意義な時間を過ごすことができました。また、ここぞという時に実力を発揮することの難しさや、体配の意識が低下していることなど、次年度への課題を見つける良い機会ともなりました。これからは、それらの課題を改善するために、毎日の練習に目標をもち、全員が正射必中を貫けるように一致団結して頑張っていきたいと思います。

◇ホッケー部

顧　問　手塚　剛
　　今崎徹郎
前部長　佐藤由惟
　　金見榛音
　　山田里佳子
現部長　渡部史華
　　藤倉魁

悔しさを力に

私たち興譲館ホッケー部は、男子は「全国高等学校総合体育大会東北地区予選会」で三位以上、女子はインターハイ出場を目標に、日々の練習に励んできました。

男子は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、部員一人ひとりが出来ることを考え、限られた時間の中で最大限の練習をすることができました。

待ちに待った東北大会では福島県立修明高等学校と対戦し、惜しくも一対二で負けてしまいました。しかしながら、日々の練習の成果を十分に発揮することができ、成長を実感できた良い機会となりました。

女子は、目標達成に向け日々の練習を真剣に行い、数少ない練習試合では一回一回を大切にし、回数を重ねる度に成長することができました。東北大会で岩手県立沼宮内高等学校と戦いました。結果は、〇対二と負けてしまいましたが、課題であった〝攻めきる〟ことができ、今までで一番いい試合になりました。

最後に、私たち興譲館ホッケー部を支えてくださっている顧問の先生方、コーチの方々、OBの方々、保護者の方々、応援してくださっているさまざまな方々に深く感謝し、目標に向けて全力で励んでいきます。

◇スキー部

顧　問　坂野理絵
前部長　猪俣幸一
　　菅原　耀
現部長　中沢愛歩

私たちスキー部は、一年生三名、二年生一名の合計四名で活動しています。夏場は体力づくりやウェイトトレーニング、冬場はスキー場でのポールトレーニングなど、顧問の先生の御指導のもと、部活を行っております。多くの部活でインターハイが中止になっている中、スキー競技では例年通り開催される予定です。部員それぞれがインターハイ出場という目標の為に日々練習に励んでいます。こんな機会を貰えることはとても恵まれていることなので、その事が当たり前だとは思わず、大会まで、しっかり準備していけたらと思います。支えて下さる顧問の先生や家族に感謝して予選に挑みたいと思います。

令和２年度置賜地区高等学校新人体育大会各競技学校対抗成績一覧

No.	種目名	男子 優勝	男子 2位	男子 3位	男子 3位
1	登山	最優秀 米沢工業	優秀 **米沢興譲館**		
2	剣道	米沢中央	**米沢興譲館**	長井	米沢工業
3	柔道	米沢中央	米沢工業	長井工業	
4	弓道	米沢工業A	長井A	長井B	
5	バスケットボール	米沢中央	**米沢興譲館**	長井	米沢工業
6	バレーボール	米沢中央	長井	**米沢興譲館**	
7	サッカー	米沢中央	米沢工業	長井	
8	ソフトボール				
9	ソフトテニス	米沢工業	**米沢興譲館**	長井工業	長井
10	卓球	米沢中央	長井	九里学園	**米沢興譲館**
11	バドミントン	長井	九里学園	**米沢興譲館**	南陽
12	フェンシング	米沢中央	高畠		
13	ホッケー	置賜農業	**米沢興譲館**		
14	テニス	米沢中央			

No.	種目名	女子 優勝	女子 2位	女子 3位	女子 3位
1	登山			(奨励) **米沢興譲館**	
2	剣道	米沢中央	長井	高畠	米沢東
3	柔道	米沢中央	置賜農業		
4	弓道	長井A	長井B	**米沢興譲館A**	
5	バスケットボール	九里学園	米沢東	**米沢興譲館**	米沢商業
6	バレーボール	米沢中央	長井	九里学園	
7	サッカー	米沢中央			
8	ソフトボール	米沢中央	長井	南陽	
9	ソフトテニス	長井	南陽	米沢商業	米沢東
10	卓球	米沢中央	**米沢興譲館**	米沢東	高畠
11	バドミントン	**米沢興譲館**	九里学園	米沢商業	長井
12	フェンシング	**米沢興譲館**	高畠		
13	ホッケー	**米沢興譲館**			
14	テニス	実施なし			

令和２年度大会・コンクール等の結果一覧

部活名	代替大会	地区高校新人体育大会	県高校新人体育大会	その他の大会等
陸上競技	令和２年度山形県高等学校陸上競技置賜地区大会 【男子】 1500m　第３位　丸子　晴樹 5000m　第３位　丸子　晴樹 5000mW　第６位　佐藤　琉斗 ４×400m　第４位 杉本　貴洸・那須　悠介 金子隆太郎・皆川　泰毅 【女子】 100m　第８位　川合　世蘭 800m　第７位　吉田　陽乃 1500m　第４位　舩山　明莉 1500m　第６位　吉田　陽乃 3000m　第２位　舩山　明莉 走高跳　第２位　横山　文香 走幅跳　第５位　川合　世蘭 第８位　中川　綾菜 三段跳　第３位　横山　文香 ４×400m　第４位 横山　文香・舩山　明莉 吉田　陽乃・平　ひより	【男子】 800m　第８位　大木　和実 1500m　第２位　丸子　晴樹 第６位　鈴木　悠斗 5000m　第３位　丸子　晴樹 3000mSC　第６位　佐藤　圭悟 5000mW　第６位　佐藤　琉斗 走幅跳　第５位　寒河江正和 4×100m　第５位 杉本　貴洸・寒河江正和 齋藤　遼真・那須　悠介 4×400m　第４位 那須　悠介・金子隆太郎 齋藤　遼真・大木　和実 【女子】 100m　第４位　川合　世蘭 800m　第５位　吉田　陽乃 第６位　平　ひより 1500m　第３位　舩山　明莉 第５位　吉田　陽乃 第６位　平　ひより 3000m　第１位　舩山　明莉 走高跳　第３位　横山　文香 走幅跳　第３位　川合　世蘭 第７位　中川　綾菜 第８位　井上　阿弥 三段跳　第３位　横山　文香 4×100m　第４位 井上　阿弥・伊藤みつき 中川　綾菜・川合　世蘭 4×400m　第３位 川合　世蘭・舩山　明莉 伊藤みつき・横山　文香	【男子】 5000mW　第10位　佐藤　琉斗 【女子】 1500m　決勝進出　吉田　陽乃 走高跳　第７位　横山　文香 走幅跳　第５位　川合　世蘭 三段跳　第４位　横山　文香 →東北新人大会出場	令和２年度第25回東北高等学校新人陸上競技選手権大会 【女子】 三段跳　第16位　横山　文香 男子第71回／女子第32回 山形県高等学校駅伝競走大会 兼令和２年度全国高等学校駅伝競走大会山形県予選会 【男子】　第10位　２：30：01 【女子】　第７位　１：24：18
硬式野球	山形県高等学校野球大会2020 １回戦　対　荒砥・長工連合 ２回戦　対　米沢中央 ３回戦　対　鶴岡東	１次予選 １回戦　対　長　井　17－６ 代表決定戦　対　九　里　１－14 （５回コールド） ２次予選 １回戦　対　置農・長工連合　16－１ （７回コールド） 代表決定戦　対　高畠・米東連合　６－１	２回戦　対　山形中央　２－７	第36回１年生大会置賜地区予選 リーグ戦 対　長井・長工・置農・米商　15－６ 対　米沢中央　０－10
バスケットボール		【男子】 ２回戦　対　南　陽　95－73 準決勝　対　長　井　83－69 決勝　対　米沢中央　54－150 よって、準優勝 （第２代表で県高校新人大会出場）。 【女子】 １回戦　対　南　陽　66－44 準決勝　対　米沢東　33－55 順位決定戦　対　米沢商業　61－60 よって、第３位 （第３代表で県高校新人大会出場）。	【男子】 １回戦　対　山形商業　57－76 【女子】 １回戦　対　山形中央　35－84	●選手権大会地区予選 【男子】 １回戦　対　高　畠　70－58 準決勝　対　南　陽　67－76 ３位決定戦　対　長　井　67－69 よって、第４位。 【女子】 １回戦　対　長　井　79－49 準決勝　対　九里学園　35－82 ３位決定戦　対　南　陽　76－68 よって、第３位で県予選出場。 ●選抜優勝大会県予選 【女子】 １回戦　対　山形学院　29－88
バレーボール		６チームによるリーグ戦 対　長井工業　２－０ 対　長　井　０－２ 対　米沢中央　０－２ 対　置賜農業　２－０ 対　米沢工業　２－１ ３位で県大会へ	大会中止	☆安部杯☆ ６チームによるリーグ戦 対　米沢工業　１－２ 対　置賜農業　２－０ 対　長井工業　２－０ 対　長　井　０－２ 対　米沢中央　０－２ 第４位 ☆地区１年生大会☆ 対　米沢工業　２－０ 対　米沢中央　０－２ 対　長　井　１－１ ※４チーム参加

部活名	代替大会	地区高校新人体育大会	県高校新人体育大会	その他の大会等
サッカー		☆予選リーグ 対　米 沢 東　５－０ 対　米沢工業　０－１ 対　長井工業　６－０ 予選リーグ第２位 ☆順位決定戦 対　長　　井　１－６ 第４位		☆第99回全国高等学校サッカー選手権大会山形県大会 ２回戦　対　天　　童　　３－０ ３回戦　対　東海大山形　１－４ ３回戦敗退
卓球		【男子】学校対抗　第３位 ２回戦　対　長 井 工　３－０ 準決勝　対　長　　井　１－３ シングルス ベスト８　山口　達也・石谷　一歩 【女子】学校対抗　第２位 １回戦　対　長　　井　３－２ 準決勝　対　高　　畠　３－１ 決勝　　対　米沢中央　１－３ シングルス 第１位　　二瓶菜津子 ベスト８　　浦田日向子 以上　県大会出場	【男子】学校対抗　２回戦敗退 １回戦　対　東桜学館　３－０ ２回戦　対　山 形 商　１－３ シングルス ２回戦　山口　達也 １回戦　石谷　一歩 【女子】学校対抗　２回戦敗退 ２回戦　対　山 形 商　２－３ シングルス ２回戦　二瓶菜津子 １回戦　浦田日向子	
ソフトテニス男子	令和２年度山形県高等学校ソフトテニス競技置賜地区大会 個人　第３位　矢作　怜也・髙橋祐太朗 第５位　小山　　醇・小林　　碧 他４.５ペア：出場	団体 予選Ｃリーグ　対　長井工業　　②－１ 準々決勝　　対　米商・南陽　②－０ 準決勝　　対　長　　井　②－０ 決勝　　対　米沢工業　　１－② 第２位：県高校新人大会出場 個人　第５位　小山　　醇・小林　　碧 第５位　矢作　怜也・髙橋祐太朗 佐藤　俊輔・小下　健太 青木　凜久・小形　暢宥 遠藤稀来斗・木俣　開斗 以上５ペア：県高校新人大会出場	個人 小山　　醇・小林　　碧　２回戦敗退 佐藤　俊輔・小下　健太　２回戦敗退 遠藤稀来斗・木俣　開斗　２回戦敗退 矢作　怜也・髙橋祐太朗　１回戦敗退 青木　凜久・小形　暢宥　１回戦敗退 団体 １回戦　対　山形東　②－１ ２回戦　対　酒田南　０－③	
ソフトテニス女子	令和２年度山形県高等学校ソフトテニス競技置賜地区大会 個人　安部　理央・佐藤　里咲：出場	団体 予選Ｃリーグ　対　高　　畠　１－② 準々決勝　　対　米沢商業　０－② 代表決定戦　　対　高　　畠　０－② 個人　安部　理央・小関　結子 以上１ペア：県高校新人大会出場	個人 安部　理央・小関　結子：２回戦敗退	
柔道		地区新人 【男子】 個人　73kg級　髙橋　大祉　第２位 81kg級　楊　　剛　　第３位	県新人 【男子】 個人　73kg級　髙橋　大祉　２回戦敗退 81kg級　楊　　剛　　１回戦敗退	全国高等学校柔道選手権大会山形県予選地区予選会 【男子】 個人 73kg級　髙橋　大祉　対戦なし 81kg級　楊　　剛　　対戦なし 全国高等学校柔道選手権山形県大会 【男子】 個人 73kg級　髙橋　大祉　１回戦敗退 81kg級　楊　　剛　　２回戦敗退
剣道		【男子】団体Ｂリーグ 対　高畠・米商・九里合同 ４－０　勝利 対　長　　井　３－０　勝利 Ｂリーグ１位で決勝トーナメントへ 準決勝　対　米沢工業　４－０　勝利 決勝　　対　米沢中央　１－２　惜敗 結果　準優勝(県大会出場) 個人　第３位　遠藤　悠介 男子県大会進出者 齋藤　洸祐・渋谷　京雅・長岡　勝信 【女子】団体(米商と合同チームで参加) 対　高　　畠　２－２　引分 対　米　　東　０－３　敗北 結果　リーグ第３位(県大会出場) 個人 ベスト８　金田　藍佳(県大会出場)	【男子】団体Ｂリーグ 対　東桜学館　　５－０　勝利 対　寒河江工業　３－０　勝利 対　山形東　　１－０　勝利 Ｂリーグ１位で準々決勝へ 準々決勝　対　酒田光陵　１－２　惜敗 結果　ベスト８ 【女子】団体(米商と合同チームで参加) 対　鶴 岡 東　０－４　敗北 対　米沢中央　０－３　敗北 結果　リーグ第３位 個人戦　最高２回戦進出	地区冬季剣道大会 【男子】１学年の部　佐藤光月流　第３位 ２学年の部　長岡　勝梧　準優勝

部活名	代替大会	地区高校新人体育大会	県高校新人体育大会	その他の大会等
弓道		地区高校新人大会 【男子】団体　第４位　40射11中 県大会出場 【女子】団体　第３位 40射８中　射詰競射　県大会出場 地区高校選抜大会 【男子】団体　予選敗退　36射４中 【女子】団体　第３位　36射８中 県大会出場	県高校新人大会 【男子】団体　予選敗退　40射８中 【女子】団体　予選敗退　40射８中 県高校選抜大会 【女子】団体　予選敗退　24射８中	第50回記念ダリヤ杯弓道大会兼置賜地区弓道大会 【男子】個人　点数的競技 梅津　昂征　第２位　19点 2020年度納会 【男子】個人　梅津　大河　第１位 ８射３中　射詰競射 【女子】個人　近野　琉風　第２位 ８射４中　遠近競射 寒河江菜穂　第３位(技能賞) ８射４中　遠近競射
山岳		【男子】団体 大会山域：西吾妻山 結果：優秀(第２位) 読　図　７／８ 団体装備　５／５ 個人装備　18／20 体　力　◎ 歩　行　◎ 【女子】団体 大会山域：西吾妻山 結果：奨励賞(第３位) 読　図　４／８ ※梵天岩の手前で隊離脱した。 成績は離脱前までのもの。	【男子】団体 行動隊②エントリー 大会山域：西吾妻山(人形石経由) 天 気 図　1.0／4.0 知識審査　2.6／4.0 計 画 書　1.4／2.0 行動記録　0.8／2.0 読　図　8.0／10.0 【女子】団体 大会山域：西吾妻山(人形石経由) 体　力　29.5／40.0 歩　行　9.5／10.0 装　備　4.5／5.0 設営撤収　0.0／5.0 天 気 図　1.8／4.0 知識審査　1.8／4.0 計 画 書　1.2／2.0 行動記録　1.0／2.0 読図技術　8.0／10.0	
バドミントン		【男子】 団体　第３位 １回戦　対　米沢工業　３－１　勝利 ２回戦　対　長　井　１－３　敗戦 代表決定戦 対　長井工業　３－１　勝利 ３位決定戦 対　南　陽　３－０　勝利 ダブルス 小方　悠暉・山口　由悟組　第５位 シングルス　山口　由悟　第４位 小方　悠暉　第５位 【女子】 団体　優勝 １回戦　対　長　井　３－１　勝利 ２回戦　対　米沢商業　３－１　勝利 決勝　対　九里学園　３－１　勝利 ダブルス 原　環・佐藤結宇組　第１位 金子　望愛・ランジェム彩葉組 第５位 後藤　莉子・安部　真桜組　第５位 シングルス　原　環　第１位 佐藤　結宇　第４位 以上県大会出場	【男子】 団体 １回戦　対　新庄東　０－３　敗戦 ダブルス 小方　悠暉・山口　由悟組　１回戦敗退 シングルス　小形　悠暉　１回戦敗退 山口　由悟　１回戦敗退 【女子】 団体 １回戦　対　山形西　１－３　敗戦 ダブルス 原　環・佐藤　結宇組　１回戦敗退 金子　望愛・ランジェム彩葉組 ２回戦敗退 安部　真桜・後藤　莉子組　２回戦敗退 シングルス　原　環　１回戦敗退 佐藤　結宇　１回戦敗退	
フェンシング		【男子】 個人フルーレ　峯田　大空　第２位 エペ　峯田　大空　第３位 【女子】 学校対抗　第１位 個人フルーレ　和泉　希音　第１位 奥山　愛子　第２位 エペ　和泉　希音　第１位 サーブル　大久保南美　第１位 奥山　愛子　第２位	【男子】 個人フルーレ　峯田　大空　第３位 エペ　峯田　大空　第２位 【女子】 学校対抗　第２位 エペ　和泉　希音　第２位 サーブル　大久保南美　第１位 奥山　愛子　第２位	ＪＯＣジュニアオリンピック・カップ・フェンシング大会 【男子】 カデエペ　峯田　大空　第９位

部活名	代替大会	地区高校新人体育大会	県高校新人体育大会	その他の大会等
ホッケー		【男子】 対　置賜農業　第２位 0 ┌ 0－4 　 │ 0－2 　 │ 0－1 　 └ 0－4 ┘ 19	【男子】 対　置賜農業　第２位 0 ┌ 0－0 　 │ 0－4 　 │ 0－2 　 └ 0－0 ┘ 21 【女子】 対　米沢商業　第２位 0 ┌ 0－1 　 │ 0－0 　 │ 0－0 　 └ 0－0 ┘ 1	令和２年度東北高校選抜ホッケー大会 【男子】１回戦 対　修明（福島） 1 ┌ 1－0 　 │ 0－1 　 │ 0－1 　 └ 0－0 ┘ 2 【女子】１回戦 対　沼宮内（岩手） 0 ┌ 0－0 　 │ 0－1 　 │ 0－0 　 └ 0－1 ┘ 2
水泳	●競泳　山形スイムトライアル2020 【女子】 400mフリー　尾形　綺音　第３位 50mバタフライ　佐原　陸希　第２位		【男子】 50mフリー　舩山　晃大　第４位 【女子】 400mフリー　尾形　綺音　第４位 （東北大会出場） 100mバタフライ　佐原　陸希　第２位 （東北大会出場） 200mバタフライ　佐原　陸希　第２位 （東北大会出場）	●競泳 東北高等学校新人水泳競技大会出場 【男子】 50mフリー　舩山　晃大　第24位 【女子】 400mフリー　尾形　綺音　第13位 100mバタフライ　佐原　陸希　第18位 200mバタフライ　佐原　陸希　第21位
スキー	令和２年度山形県高等学校総合体育大会 第72回山形県高等学校スキー大会 【男子】スペシャルジャンプ 落合　創太　第２位 【女子】 大回転　中沢　愛歩　１本目途中棄権 原田　結子　第12位 回転　中沢　愛歩　第12位 原田　結子　第13位 ２名とも２種目東北大会出場権獲得	２月22日にアルペン実施		第99回山形県スキー選手権大会 【男子】スペシャルジャンプ 落合　創太　第２位 【女子】 大回転　中沢　愛歩　第19位 原田　結子　第20位 回転　原田　結子　第23位 中沢　愛歩　第24位 第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会山形県予選会 【少年男子】スペシャルジャンプ 落合　創太　第２位 【少年女子】 大回転　原田　結子　第11位 中沢　愛歩　第12位 第43回東北高等学校スキー選手権大会 【女子】 大回転　中沢　愛歩　第22位 原田　結子　第24位 女子回転　中沢　愛歩　第19位 原田　結子　第23位 令和２年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）・第70回全国高等学校スキー大会 【男子】スペシャルジャンプ 落合　創太　第23位 第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会 【少年男子】スペシャルジャンプ 落合　創太：大会中止 第33回全国高等学校選抜スキー大会 （ノルディック種目） 【男子】スペシャルジャンプ 落合　創太：今後出場

部活動名	活動報告
美術	第71回緑光会　奨励賞：今井　遥名「不揃いの街」 第44回山形県高等学校総合文化祭　奨励賞：小川　綺楽「turn back time」 奨励賞：今井　遥名「不揃いの街」
吹奏楽研究	全日本アンサンブルコンテスト置賜地区予選 サクソフォン三重奏〈金賞〉 クラリネット三重奏〈金賞〉 木管三重奏〈金賞・代表〉 全日本アンサンブルコンテスト山形県大会 木管三重奏〈銀賞〉

部活動名	活動報告
新聞文芸	《新聞班》 学校新聞「興譲」発行 《文芸班》 第19回山形県高等学校文芸コンクール　散文部門　佳作　長橋　昂汰 文芸部誌部門　佳作 令和２年度全国高文連北海道東北文芸大会（岩手）紙上参加　高橋ののか 令和２年度全国高等学校総合文化祭（高知市）オンライン参加　佐藤　ちな 米澤新聞社主催「米新歌壇」出品 文芸部誌「無限軌道」発行
ＣＳＳＣ（コアスーパーサイエンスクラブ）	・2019年度東北大学　探求型「科学者の卵養成講座」 ２年　優秀賞　嘉規　円花　髙梨　美佳 ２年　奨励賞　綿貫　滉大 ・2020年度東北大学　探求型「科学者の卵養成講座」 自己推薦枠採択　２年　佐藤　伯　１年　片倉叶多郎　井上　桃希 ・マリンチャレンジプログラム2020年度認定研究「環境DNAでキタノメダカを救え！」２年　佐藤　伯 ・第44回全国高等学校総合文化祭自然科学部門 ポスター（パネル）発表　研究奨励賞「農作物の品質管理を目指したバイオセンサーの開発」３年　牛久保　舞　２年　髙梨　美佳 ・第44回山形県高等学校総合文化祭　展示部門　科学専門部 ポスター発表「上杉神社周辺のお堀の水質調査と水質改善に向けて」１年　黒金　隆斗　石川　貴大　井上　桃希 「電気泳動槽の自作」１年　片倉叶多郎　吉田　渓　原田　樹哉 ・WRO Japan 2020 決勝大会 on the WEB　本部選考会 レギュラーカテゴリーエキスパート部門シニア　参加　２年　見保　駿作　釜田　康誠　綿貫　滉大 パソコン甲子園2020　プログラミング部門 ・プログラミング部門予選成績優秀証　２年　髙梨　美佳　見保　駿作 →本選（全国大会）出場（オンライン特別枠） 予選参加　２年　今泉　輝　武田　颯太　釜田　康誠　綿貫　滉大 １年　片倉叶多郎　黒金　隆斗　吉田　渓　石川　貴大　井上　桃希　原田　樹哉 ・第20回日本情報オリンピック 二次予選進出　２年　今泉　輝　武田　颯太　見保　駿作 一次予選参加　２年　髙梨　美佳　綿貫　滉大　１年　吉田　渓　石川　貴大　井上　桃希　原田　樹哉 ・第３回環境DNA学会・第36回個体群生体学会合同大会 高校生ポスター賞審査員特別賞「環境DNAでキタノメダカを救え！」２年　遠藤　祐太　佐藤　伯　澤井　奎治 ・サイエンスキャッスル2020関東大会 研究発表　２年　遠藤　祐太　佐藤　伯　澤井　奎治 ・山形県高等学校文化連盟科学専門部研究発表会（県探究型学習課題研究発表会【高文連科学専門部の部】代替大会） 優秀賞（化学）「乾燥温度の違いにおける含水率変化とメイラード反応」２年　綿貫　滉大 →令和３年度全国高等学校総合文化祭自然科学部門　研究発表の部（化学部門）出場決定 優良賞（物理）「勉強するならこの照明！－学習効率の良い照明条件の調査－」２年　今泉　輝 ・やまがたAI甲子園（３／７開催） 出場予定　２年　嘉規　円花　武田　颯太　見保　駿作　１年　黒金　隆斗　石川　貴大　井上　桃希 ＜科学系講習会等への参加＞ ・イノベーター育成塾　所属　２年　遠藤　祐太　佐藤　伯　髙梨　美佳　今泉　輝　武田　颯太　釜田　康誠　澤井　奎治　見保　駿作　綿貫　滉大 ・やまがたAI部　所属　２年　嘉規　円花　武田　颯太　見保　駿作　１年　黒金　隆斗　石川　貴大　井上　桃希 ＜科学系ボランティア等への参加＞ ・美しい山形・最上川フォーラム主催「身近な川や水辺の健康診断」（水質調査・水生生物調査）１・２年全部員参加 ・やまがた酸性雨ネットワーク主催「酸性雨調査」１年全部員参加
ＳＳクラブ（スーパーサイエンスクラブ）	・全国物理コンテスト　物理チャレンジ2020　奨励賞（第2チャレンジ進出）３年　安部　央人 ・日本物理学会　第17回 Jr.セッション　参加「μ粒子の寿命測定」２年　髙梨　美佳　宮原　杏奈　髙橋　夢玖 ・令和２年度　第10回科学の甲子園山形県大会 第３位　２年　本田　孝和　菅野　翔太　佐藤　伯　武田　宗悟　那須　悠介　横山　陽音　寒河江開来　丸子　晴樹 ・第３回環境DNA学会・第36回個体群生体学会合同大会 高校生ポスター賞審査員特別賞「環境DNAでキタノメダカを救え！」２年　荒木　星凪 高校生ポスター賞審査員特別賞「環境DNAを利用したカジカ科の魚の分布図の作成」２年　菅野　翔太　森　玄 令和２年度山形県探究型学習課題研究発表会　一般の部 「μ粒子の寿命測定」２年　宮原　杏奈　髙梨　美佳　髙橋　夢玖 「イザベラ・バードの記録を通して私たちの住む地域文化・歴史を知る」２年　小川　永雅 「風レンズのつばの形状による発電量の変化」２年　青木　凜久　今泉　輝　小林　碧 「カフェを利用した地域振興を考える」２年　安部　理央　加藤　遥　長谷川華穂　三ケ山悠太　河東田陽奈 令和２年度東北地区サイエンスコミュニティ研究発表会 口頭発表「μ粒子の寿命測定」２年　髙梨　美佳　宮原　杏奈　髙橋　夢玖 ポスター発表「風レンズのつばの形状による発電量の変化」２年　青木　凜久　今泉　輝　小林　碧 「同調圧力と兄弟構成における一考察」２年　平間　遥奈　渡部　史華　渡邊　美晴　佐原　芽依
ＥＳＳ	令和２年度　山形県高校生英語ディベート大会　優勝 令和２年度　第15回全国高校生英語ディベート大会オンライン出場
調理科学	山形県主催「環境にやさしい料理レシピコンテスト　2020 inやまがた」応募 第15回小野川温泉女将会「ごっつお味噌料理コンテスト」応募
音楽	福島高校音楽部との交流会（福島高校） クリスマスコンサート（本校コモンホール） 第31回山形県声楽アンサンブルフェスティバル（山形テルサ）

令和元年度　体育文化後援会　決算書

収入の部　（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

項目	予算額	決算額	増減	備考
一般会費	9,928,000	9,940,100	12,100	年額　17,000円（保護者）当初予算人数584名
特別会費	408,000	400,000	△ 8,000	年額　8,000円（教職員）当初予算人数51名
賛助会費	1,200,000	1,163,960	△ 36,040	
繰越金	173,839	173,839	0	平成30年度会計より
合計	11,709,839	11,677,899	△ 31,940	

支出の部

項目		予算額	決算額	増減	備考
事業費	上級大会派遣費	4,600,000	4,029,082	△ 570,918	県大会以上・コンクール
	参加料	650,000	506,300	△ 143,700	県大会以上参加料
	強化費	2,300,000	805,590	△ 1,494,410	遠征・合宿補助
	強化指導費	2,000,000	1,665,714	△ 334,286	生徒引率旅費
	施設整備費	100,000	44,000	△ 56,000	体育館前冷凍庫
	奨励費	120,000	57,040	△ 62,960	懸垂幕・生徒表彰・コーチ謝礼
	応援活動費	100,000	149,080	49,080	生徒応援バス代補助他
	小計	9,870,000	7,256,806	△ 2,613,194	
運営費	会議費	20,000	0	△ 20,000	
	事務費	45,000	46,882	1,882	郵送料・振替手数料
	印刷費	300,000	263,120	△ 36,880	会報印刷代
	渉外費	60,000	38,920	△ 21,080	会長（旅費・参加料）他
	人件費	955,000	948,835	△ 6,165	団体職員人件費
	使用料	120,000	115,104	△ 4,896	セコムＡＥＤレンタル料（通信・電池交換代含）
	小計	1,500,000	1,412,861	△ 87,139	
予備費		339,839	66,252	△ 273,587	顧問登録料・振込手数料他
合計		11,709,839	8,735,919	△ 2,973,920	

決算額

収入額 11,677,899　－　支出額 8,735,919　＝　残額 2,941,980　（次年度へ繰越）

令和２年度　体育文化後援会　予算及び補正予算

収入の部　（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

項目	本年度予算額	前年度予算額	対前年度予算増減	補正予算額	対本年度予算増減	備考
一般会費	9,826,000	9,928,000	△ 102,000	9,860,000	34,000	17,000円×578→580名(保護者)
特別会費	408,000	408,000	0	408,000	0	8,000円×51名（教職員）
賛助会費	800,000	1,200,000	△ 400,000	800,000	0	賛助会員
繰越金	2,941,980	173,839	2,768,141	2,941,980	0	令和元年度会計より
雑収入	0	0	0	0	0	
合計	13,975,980	11,709,839	2,266,141	14,009,980	34,000	

支出の部

項目		本年度予算額	前年度予算額	対前年度予算増減	補正予算額	対本年度予算増減	備考
事業費	上級大会派遣費	4,600,000	4,600,000	0	2,400,000	△ 2,200,000	県以上大会･コンクール 前年度４～８月の支出から減額を試算
	参加料	650,000	650,000	0	304,000	△ 346,000	県以上大会･コンクール参加料 前年度４～８月の支出から減額を試算
	強化費	2,300,000	2,300,000	0	2,300,000	0	遠征・合宿補助
	強化指導費	2,000,000	2,000,000	0	1,200,000	△ 800,000	生徒引率旅費 前年度４～８月の支出から減額を試算
	施設整備費	1,700,000	100,000	1,600,000	5,600,000	3,900,000	備品費･修繕費･会場借用料他
	奨励費	160,000	120,000	40,000	160,000	0	懸垂幕・生徒表彰他
	応援活動費	500,000	100,000	400,000	0	△ 500,000	応援補助 全国高校野球県大会の中止
	小計	11,910,000	9,870,000	2,040,000	11,964,000	54,000	
運営費	会議費	20,000	20,000	0	20,000	0	各会議補助
	事務費	60,000	45,000	15,000	60,000	0	事務用品･郵送料･振替手数料
	印刷費	300,000	300,000	0	300,000	0	会報印刷代
	渉外費	60,000	60,000	0	60,000	0	会長（旅費・参加費）
	人件費	966,000	955,000	11,000	966,000	0	団体職員人件費
	使用料	120,000	120,000	0	100,000	△ 20,000	セコムＡＥＤレンタル代 1ヶ月使用料¥9,680×12ヶ月分他 →1ヶ月使用料¥9,680×5ヶ月分+¥6,600×7ヶ月分他
	小計	1,526,000	1,500,000	26,000	1,506,000	△ 20,000	
予備費		539,980	339,839	200,141	539,980	0	顧問登録料・振込手数料
合計		13,975,980	11,709,839	2,266,141	14,009,980	34,000	

米沢興譲館高等学校体育文化後援会規約

（名称・事務局）

第一条　本会は、米沢興譲館高等学校体育文化後援会（以下「本会」という）と称する。

二、本会の事務局を米沢興譲館高等学校（以下「本校」という）内に置く。

（目　的）

第二条　本会は、本校における部活動をはじめとする、体育文化活動の振興及び発展を図ることを目的とする。

（事　業）

第三条　本会は、第二条の目的を達成するために、次の事業を行う。

（一）本校の体育文化活動の振興及び発展のために必要と認める事業。

（二）その他本会の目的達成のために必要な事業。

（組　織）

第四条　本会は、保護者（一般会員）及び、教職員（特別会員）、ＯＢ・ＯＧ等本会の目的に賛同する者（賛助会員）を以て組織する。

（役　員）

第五条　本会に会長（一名）、副会長（三名）、理事（六名）、幹事（七名）、監事（二名）の役員を置く。

二、役員の任期は一年とする。但し再任を妨げない。

（役員の選出）

第六条　役員は下記により選出し、総会の承認を得ることとする。

（一）会長は、理事会で選出する。

（二）副会長は、校長、教育振興会会長及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された一名がこれにあたる。

（三）理事は、教育振興会副会長三名（一・三学年の部会長、教頭）及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された三名がこれにあたる。

（四）幹事は、教頭、事務部長、生徒課長、総務課長、保護者一名（二学年）及び部ＯＢ・ＯＧのなかから選出された二名がこれにあたる。

（五）監事は、保護者二名（一・三学年各一名）がこれにあたる。

（役員の任務）

第七条　役員の任務は次の通りとする。

（一）会長は会務を統括し、本会を代表する。

（二）副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。

（三）理事は本会の運営について審議する。

（四）幹事は会務の企画、立案、執行にあたる。

（五）監事は本会の事業並びに会計を監査する。

（顧　問）

第八条　本会に顧問を置くことができる。

二、顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

（事務局）

第九条　事務局は、会長委嘱による事務局員で構成し、日常業務を処理する。

（会　議）

第十条　本会の会議は総会、理事会、幹事会とする。

（一）総会は年一回召集し、役員の承認、予算・決算の承認、規約の改正、その他必要事項を議決する。また、必要あるときは臨時総会を召集することができる。

（二）理事会、幹事会は必要に応じて随時会長が召集し、総会に提出する議案に関すること、本会の運営に関すること、その他必要事項を審議する。

（三）理事会は会長、副会長、理事で構成する。

（四）総会及び理事会の議長は会長が務める。

幹事会の議長は教頭が務める。

（経　費）

第十一条　本会の経費は、一般会員会費、賛助会員会費、その他の収入を以てこれにあてる。

（一）各会員の会費は次の通りとする。

一般会員（保護者）一七、〇〇〇円

特別会員（教職員）　八、〇〇〇円

賛助会員（原　則）一〇、〇〇〇円以上

（二）一般会員が「山形県立高等学校の授業料等徴収条例」第八条の授業料の減免に該当したときは会費を減免できるものとする。ただし、納付済みのものについてはこれを行わない。

（会計年度）

第十二条　本会の会計年度は毎年四月一日から翌三月三十一日までとする。

〔付　則〕

本会の規約は、次のとおり制定・改正する。

昭和三十二年九月十九日制定

昭和四十年六月一日改正

昭和四十五年十二月五日改正

昭和四十九年五月十五日改正

昭和五十一年三月二十四日改正

平成三年三月一日改正

平成四年五月二十二日改正

平成十五年四月二十六日改正

平成二十年四月二十八日改正

平成二十四年四月二十六日改正

平成三十一年四月二十五日改正

令和二年度 体育文化後援会役員

顧　問　駒形　衛

土澤　幸雄

内藤　文徳

会　長　小島長五郎

副会長　柿﨑　悦子（校長）

髙木　真也（二学年）

宗川　真希

理　事　鈴木　弘樹（三学年）

漆山　裕（一学年）

堀江　昭浩（教頭）

遠藤　岩根

我妻　弘一

原田　正夫

幹　事　堀江　昭浩（教頭）

原田　典仁（事務部長）

手塚　剛（生徒課長）

石黒　宏治（総務課長）

是川　邦子（二学年）

鈴木　基

鈴木　文雄

監　事　新野　勝（三学年）

宍戸　俊文（一学年）

猪俣　幸一（職員）

事務局長　小林　啓明（職員）

事務局　伊藤　謙汰（職員）

坂野　理絵（職員）

原田　知明（職員）

山口　英雄（職員）

吉田　真悟（職員）

舩山　洋子（職員）

賛助会員名簿

（敬称略・令和3年2月17日現在）

米沢興譲館保護者会 南陽支部	南陽市
中條医院（中條明夫）	米沢市
㈲ナカタ薬局	米沢市
㈱振興電気	米沢市
小野隆夫	米沢市
(医)三條歯科医院	米沢市
鈴木歯科医院	米沢市
山口晃（S49年卒）	新潟県
㈱りんご苑	高畠町
黄木脳神経クリニック	米沢市
㈱小島洋酒店	米沢市
中條歯科医院（中條良文）	米沢市
堀内宗松	米沢市
㈱小嶋総本店	米沢市
駅前最上接骨院	米沢市
㈱米沢自動車学校	米沢市
㈱日本ブライト米沢営業所	米沢市
我妻建設工業㈱	米沢市
佐藤歯科医院	白鷹町
林歯科医院	米沢市
遠藤岩根	米沢市
(医)さの医院	米沢市
金子建設工業㈱	米沢市
(医)大道寺医院	米沢市

あさひ歯科医院	米沢市
(一財)三友堂病院	米沢市
宗川巧業㈱	米沢市
㈲肉のさかの	米沢市
㈱小池商店	米沢市
井上榮子	長井市
㈱吾妻スポーツ	米沢市
内藤文徳	米沢市
㈱上杉コーポレーション	米沢市
山交観光㈱米沢案内所	米沢市
セブンイレブン米沢杉の目町店	米沢市
㈱遠藤書店	米沢市
(医)田中クリニック	米沢市
(医)杏山会吉川記念病院	長井市
39会 舟山進	米沢市
太田建設㈱	米沢市
㈱羽陽印刷	米沢市
㈱本多建設	米沢市
㈲ハヤシ薬局	米沢市
山川広治	東京都
米沢興譲館高寒会関西支部支部長 中川勉	京都府
山水克美	南陽市
尻髙邦夫	米沢市
㈱エービーエム	米沢市

日本防災工業㈱	米沢市
㈱キムラ	米沢市
㈲三愛サービス	米沢市
㈱西方商店	米沢市
税理士法人「豊」	米沢市
猪口春生	米沢市
(特非)赤とんぼ	米沢市
粉雪の海賊団	米沢市
(医)くまの医院	米沢市
㈱米沢牛黄木	米沢市
県南自動車学校	高畠町
相馬写真館	米沢市
かねしめ水産㈱	米沢市
㈲山木鈴木商店	米沢市
㈱データシステム米沢	米沢市
㈱後藤組	米沢市
㈱殖産工務所	川西町
高橋歯科医院	米沢市
東北警備保障㈱	米沢市
㈱平山孫兵衛商店	米沢市
㈲キョウドウ印刷	米沢市
本田貞夫	米沢市
千代田電工㈱	米沢市
㈱植杉造園	米沢市
㈱山形読売旅行会	米沢市
㈱一文字屋	米沢市
ホテルモントビュー米沢	米沢市
マツキドライビングスクール米沢松岬校	米沢市

㈱ナウエル	米沢市
㈱フーディー	米沢市
コカ・コーラボトラーズジャパン㈱	米沢市
㈱川島印刷	米沢市
（バド部）ＹＯＫＯＢＡ	
野球部ＯＢ会	
山岳部ＯＢ会	
陸上競技部　後援会	
弓道部後援会	
サッカー部ＯＢ会	
卓球部ＯＢ会	
ソフトテニス部ＯＢ会（興庭会）	
吹研クラブＯＢ会	

あたたかいご支援・ご協力ありがとうございました。